

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	経営ビジネス学科					
科目名	日本文化論					
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期	
必修・選択の別	選択					
担当者	橋富博喜					
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本美術史の大きな流れを記述できる。 ・それぞれの時代の造形的特徴を説明できる。 ・著名な作品について、作者、制作年、特徴、依頼者、影響関係を説明できる。 ・それぞれの美術作品がつけられた時代の文化、社会的状況を説明できる。 					
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業概要の説明、成績評価法 第2回：飛鳥白鳳時代1－仏教美術のはじめ 第3回：飛鳥白鳳時代2－仏教美術の展開 第4回：奈良時代1－華やかな仏教美術 第5回：奈良時代2－時代の移り変わり 第6回：平安時代1－密教美術の移入 第7回：平安時代2－国風文化の形成 第8回：平安時代3－院政期の美術 第9回：鎌倉時代1－新しい仏教美術 第10回：鎌倉時代2－聖と俗の美術 第11回：室町時代－水墨画の世界 第12回：江戸時代1－狩野派の登場 第13回：江戸時代2－文人画と世俗画 第14回：江戸時代3－洋画の芽生え 第15回：明治の美術 定期試験</p>					
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%		
	臨時試験	40%	部外評価	0%		
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%		
	課題	0%				
	演習	0%	計	100%		
授業到達目標の達成度	講義は計画どおりに進化した。しかし下記の反省点にも記したが、「難しい」という意見も多く、学生達に内容がうまく伝わらなかった点もうかがえる。					
反省点	学生達のなかで「難しい」という意見がいくつか見られた。講義の内容はほぼ毎年同じ程度で、スライド等も年々工夫してこの意見が多いということは、基本的な歴史を学んでいない学生が増えたとも考えられる。受験科目のなかから「歴史(日本史、世界史)」がなくなり、歴史的な時代の流れに無関心の学生が居ることもたしかである。こういうなかで日本の美術史を伝えるには、もう少し工夫が必要なのかと考える。					
来年度の計画	上記したとおり、「難しい」と考える学生に、「わかりやすく」、「丁寧に」歴史を伝えていきたい。					
授業評価アンケートに対するコメント	工夫しながらスライドを作成してみました。やはりすこし「難しい」との意見があります。もっとわかりやすくしてみます。板書については、「もう少し丁寧に」「もう少しわかりやすく」というのがありますが、あらかじめプリントを配布しており、文字はそこで確認できるかと思えます。皆さんに伝えたいことがたくさんありますので、すこし速筆になるところがあります。ご寛容下さい。					
履修登録者数	98名	定期試験 受験者数	87名	合格者数	83名	合格率 95%